

令和7年12月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は2,042億円（対前年同月比2.4%の増加、比率ベース：3カ月連続の増加）、輸入総額は1,215億円（同3.6%の増加、4カ月連続の増加）であった。差引額は827億円（同0.8%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「加熱用・冷却用機器」、「重電機器」などは減少したもの、「自動車の部分品」、「電気回路等の機器」、「非鉄金属」などが増加した。

輸入は「液化天然ガス」、「金属鉱及びくず」などは減少したものの、「魚介類及び同調製品」、「重電機器」、「がん具及び遊戯用具」などが増加した。

地域別では、輸出は「アジア」が増加、「アメリカ」、「EU」は減少した。輸入は「アジア」、「アメリカ」が増加、「EU」は減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	2,042億円	+2.4%	1,215億円	+3.6%	827億円	+0.8%
	3カ月連続の増加		4カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	192億円	+27.8%	輸入	増加品目	(1) 魚介類及び同調製品	171億円	+21.8%		
		(2) 電気回路等の機器	89億円	+18.3%			(2) 重電機器	48億円	+71.4%		
		(3) 非鉄金属	46億円	+37.4%			(3) がん具及び遊戯用具	29億円	3.0倍		
	減少品目	(1) 加熱用・冷却用機器	36億円	▲41.4%		減少品目	(1) 液化天然ガス	105億円	▲28.9%		
		(2) 重電機器	70億円	▲19.2%			(2) 金属鉱及びくず	9億円	▲64.6%		
		(3) 原動機	219億円	▲6.8%			(3) パルプ	29億円	▲30.6%		
	主要地域 増減	アジアが増加、アメリカ、EUは減少				主要地域 増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少				

（参考）ドルレートは、155.86円（前年同月比2.2%、3.38円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	9億円	▲19.2%	20億円	+2.5%	▲11億円	+33.5%
	3カ月連続の減少		2カ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 金属鉱及びくず	2億円	+96.8%	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	12億円	+30.7%
		(2) 糖類及び同調製品・はちみつ	40百万円	3.1倍			(2) パルプ	3億円	2.2倍
		(3) 織物用糸及び繊維製品	16百万円	全増			(3) 魚介類及び同調製品	65百万円	+21.8%
	減少品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	34百万円	▲87.8%		減少品目	(1) 石炭	—	全減
		(2) 電気計測機器	—	全減			(2) 有機化合物	4億円	▲15.8%
		(3) 有機化合物	—	全減			(3) 無機化合物	—	全減
	主要地域 増 減		アメリカ、アジアが減少、EUは増加					EUが増加、アメリカ、アジアは減少	

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	513億円	+23.6%	34億円	2.6倍	479億円	+19.1%
	4カ月連続の増加		13カ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	107億円	2.1倍	輸入	増加品目	(1) 自動車	16億円	全増
		(2) 二輪自動車類	22億円	2.5倍			(2) プラスチック	40百万円	6.7倍
		(3) 無機化合物	23億円	+81.4%			(3) 無機化合物	15百万円	全増
	減少品目	(1) 自動車	240億円	▲6.5%		減少品目	(1) 鉄鋼	5億円	▲28.4%
		(2) 楽器	25億円	▲8.2%			(2) 粗鉱物	—	全減
		(3) 運動用具	—	全減			(3) 有機化合物	47百万円	▲61.5%
	主要地域 増 減		アジア、EUが増加、アメリカは減少					アジア、EUが増加、アメリカは減少	

4. 静岡空港

輸出入実績なし